

## 授業改善等に関する報告書（2022 年前期）

## 授業アンケートへのフィードバック

平成 28 年度より、学内で使用されている LMS (Lerning Management System) manaba 上で学生が回答した授業アンケート内容に対し、教員がコメントする形式を採っている。

次ページ以下に、それらの「授業アンケートへのフィードバック」をまとめて掲載し、授業改善等に関する報告とする。

[2022 (前期) 生活文化学科] 授業アンケート結果へのフィードバック		
コース名	教員名	教員からのコメント
カリキュラム論	南雲 成二	☆生活文化学科 幼児保育・児童(初等)教育専攻第10期生となる9名のみなさん、前期『カリキュラム論』の履修、お疲れ様でした。基本的に「出席率」はとても高く、南雲先生からの「課題レポート」も、真剣に取り組んでくださいました。とてもうれしく思います。 ☆☆南雲先生は来年みなさんと一緒に進級することができません。いわゆる『定年退職(満70歳の壁)』です。ですから、毎回の授業でお伝えしてきたように、「南雲先生の国公立小学校時代の35年と実践女子大学生生活文化学科の幼小コース創生期9年、合計44年間の教育実践研究記録でみなさんのお役にたつものは、全て提供します。」どうぞ遠慮無くお声かけください。後期月曜日1限『教育方法・技術全14回』の授業・演習の中でお伝えください。
キャリア心理学(産業・組織心理学)	塚原 拓馬	理解度が80%、満足度4.0の評価を頂いた。回答率が50%以下だったため、次回以降は向上させていきたい。
ゼミナール(論理的判断とコミュニケーション)	井口 眞美	保育園でのボランティア、後期の発表会の準備等、ゼミのメンバーと協力しながら実践的な学びができたことと思います。保育現場では「協働性」が求められます。後期も、みんなで相談し、時に、壁にぶつかりながらも、保育の楽しさ・難しさを知ってもらえたらと願っています。
ゼミナール(論理的判断とコミュニケーション)	塩川 宏郷	前期は、卒業研究にむけて、まず「論文」とは何なのか、論文の構造や記載されている内容をどうやって吟味するかを学びました。文献検索などは経験が大切ですので、実際に自分で関心のあるテーマについて論文を集め、たくさん読むことが大切です。
ゼミナール(論理的判断とコミュニケーション)	高橋 桂子	4名中記入1名。ゼミは特に真剣勝負なので、全員、書くように。授業内で書いてもらうようにします。
ゼミナール(論理的判断とコミュニケーション)	細江 容子	全体として良い評価を得てはいるが、さらに最新の学術的内容を盛り込むなどして、学生の専門への興味・理解が深まるように改善していきたい。
ゼミナール(論理的判断とコミュニケーション)	水野 いずみ	アンケートの内容にもとづき、授業をさらによりよくしていきます。
ゼミナール(論理的判断とコミュニケーション)	長崎 勤	臨床の経験を生かし、興味を持ったテーマについて、文献の検索、文献研究を進めてください。
ゼミナール(論理的判断とコミュニケーション)	渡辺 敏	より良いゼミナールを目指して授業の改善を目指します。
ゼミナール(論理的判断とコミュニケーション)	島崎 あかね	8名それぞれが、まずはお互いを知るところから始めましたが、少しずつ自分の興味関心があるテーマを見つけたり、生体負荷に関する測定を実際に体験することができたので、後期からは来年の卒論作成に向けた準備(文献研究、アンケートの実施、測定の実施 等)を進めていけたらと思っています。
医学概論	塩川 宏郷	履修者が少なかったため、新聞記事や雑誌広告などを教材にし、その内容を医学的な視点で検討することを試みました。主体的に学ぶ姿勢に今後も期待します。
家族関係論	細江 容子	全体として良い評価を得てはいるが、さらにアクティブラーニング手法等を用いるなどして、学生の講義内容の理解が深まるように改善していきたい。
家族関係論	細江 容子	声や言葉等の聞き取りやすさや説明スピード等に関して、学生の講義内容の理解が深まるように改善していきたい。
家族社会学	細江 容子	全体として良い評価を得てはいるが、学生の興味・関心が高まる様に、さらにアクティブラーニング手法等を用いるなどして、学生の講義内容の理解が深まるように改善していきたい。
家族心理学(社会・集団・家族心理学b)	長崎 勤	家族心理学についての、最近のトピックスを入れたためにシラバス通りに進まなかった面がありますが、現代の様々な家族の問題に関心を持ってもらえればと思います。ワークショップの経験も今後の学びに生かして下さい。
家族心理学演習	稲森 絵美子	授業内でのロールプレイを通して、それぞれが気づきを得られたのではないかと思います。この授業を通して学んだことが、これからの人生でいくことを願っています。
家族臨床心理学1	稲森 絵美子	授業を通して、家族が変化・成長していく可能性と、人の発達過程において家族が果たす心理的役割について、それぞれがよく学んでくれたと感じています。身近な問題として、よく考察を深めてくれました。

[2022 (前期) 生活文化学科] 授業アンケート結果へのフィードバック		
コース名	教員名	教員からのコメント
家庭教育論	水野 いずみ	頂いた内容にもとづいて、よりよい授業にしていきたいと思います。
家庭経営論 1	高橋 桂子	オカネとは生まれたときからつきあっています。アメを買う、自分の欲しいワンピースを買ってもらう、水泳やバレエを学ぶ。「お腹を満たしててありがとう、素敵な自分にしてくれてありがとう、教えてくれてありがとうございます」こんな関係です。片や住宅ローン、奨学金は「オカネを貸してくれてありがとう、だから住宅を買えました。だから大学で学んでいます」。これからも新しいことにチャレンジください。応援しています。
基礎演習 2 (科学的思考法とコミュニケーション)	作田 由衣子	結構盛りだくさんな内容だったかと思いますが、レポートの書き方は繰り返しルールに沿って書くことで身につけていきますので、ぜひ今後も授業で伝えたポイントを忘れずに頑張ってください。グループでの発表は、メンバー同士で相談しながら進めることで、一人でやるのとは違った学びがあるので、はとの考えで行いました。グループで分担して1つの資料を仕上げるのは、一人で資料を作るのとは違う難しさがありますよね。同じデータについてグループごとに異なる視点からまとめてもらったのも、意外と違いが出て面白かったと思います。
基礎演習 2 (科学的思考法とコミュニケーション)	渡辺 敏	月曜日の朝からよく学習しましたね。皆さんのフィードバックを基により良い授業に努めます。
教育・学校心理学	長崎 勤	アクティブ・ラーニングとは何か、対話的な深い学びとは何かを、今回の教育心理学の学びを通して考え続けて下さい。また現代の様々な教育の問題に関心を持ってもらえればと思います。
教育学演習	南雲 成二	☆『教育学演習』を真剣に受講し、積極的に学習(履修)してくれた幼小コース第9期生(現4年生)7名のみなさんに大きな拍手を贈らせてください。「小学校教育実習4週間」が、6月~7月、公立小学校教員採用試験<一次&二次>が7月~8月でした。結局『教育学演習前期14回分』は、『小学校教育実習指導前期14回分』とあわせて、4月~5月の間に集中講義・演習の形で乗り越えていかなければならなくなりました。第9期生7名の皆さんは、不平不満を口にせず、顔にも出さず日々真摯に取り組んでくれました。南雲先生は皆さんのその態度・姿勢に励まされて歩むことができました。実践女子大学生生活文化学科幼小コース専任最後の年「70歳定年退職の壁」を主体的かつ能動的に乗り越えてこれたのは、幼小コース9期生7名のみなさんのお陰です。 ☆☆なにより、東京都5名、茨城県1名、栃木県1名、さいたま市1名受験者全員が、一次試験を見事に「合格!!」してくれたことです。この後、二次試験の結果が続きます。7名それぞれの「実践の実践!」は、現在進行形!です。ここに『納得のいく卒業論文制作』がプラスされます。二次試験の結果を真摯に受け止めつつ、来週4月に小学校の教員現場に立つときをイメージし、さらなる努力と探究、自己啓発に取り組みしましょう。☆☆後期水曜日2限『教職実践演習14回』は、即戦力の点検・補強と併せて「これから始まる貴方の小学校教育実践の基盤整備・基礎力最終仕上げ」に集中します。よろしくお祈りします。
教育学概論	田中 正浩	アンケート結果を真摯に受け止め、受講生にとって自身の成長が実感でき、熱心に取り組みたいと思えるような、そして満足度の高い授業になるように努めていきたい。とくに、授業方法については、より双方向的にし、スライド・配付資料等をわかりやすく工夫・改善をしたい。何よりも、本授業が教職課程における基幹的科目のひとつであることを授業者、そして学習者の両者が意識し、学習者(受講生)の学びやその成果(試験結果も含め)が高まるようにしていきたい。
教育思想史	田中 正浩	回答者数が1名で、これをもって本授業の分析、評価をするのは難しい。授業者としては、授業内容及び方法についてより一層の工夫をし、授業の質を上げることに努めたい。
教職論	田中 正浩	全体として良好な評価を得てはいるが、授業者としては、受講生にとって自身の成長が実感でき、熱心に取り組みたいと思えるような、そして満足度の高い授業になるようにより一層努めるべきであると感じている。小学校教員を目指す受講生の学修へのモチベーションの高さに応える得る授業をめざしていきたい。
健康科学論 a (女性の体と心)	塩川 宏郷	女性に特化した形で、ライフコースの中で経験する思春期・青年期から老年期の発達やライフイベントについて概説しました。妊娠・出産・育児の経過の異常状態についての理解と、乳がんや子宮がんという女性独特の悪性疾患についてさらに詳述していく時間をとりたいと思います。積極的に学んでください。

[2022 (前期) 生活文化学科] 授業アンケート結果へのフィードバック		
コース名	教員名	教員からのコメント
子どもと人間関係	五味 美奈子	<p>授業全般を通して受講生自身が自分なりの考えを持ちながら授業に臨んでいる姿がうかがえました。前年度の「生涯発達心理学a」の学びを押さえつつ、保育現場に用いることができるよう伝えてまいりましたが、受講生のみなさんはそれを受け止めてくださっている印象をもちました。</p> <p>毎回のリアクションペーパーのコメントも、現在、2年次ということを見ると、今後が非常に楽しみになるほど、よいものばかりでした。これからも様々な授業で同様に学ばれるかと思えます。みなさんの今後に期待しています。</p> <p>保育現場では、子どもの姿を基に保育を行っています。その中でも子どもの育ち、人間関係（人間関係の発達を含む）、周囲の大人（保護者・保育者・地域の方々など）とのかかわりは非常に大きな意味を持ちます。子どもの姿をどのように捉えるか？というところは保育者自身の物の見方、考え方も影響しますので、子どもの発達について学ぶことはもちろんのこと、自己理解も深めていってくださいね。</p> <p>子どものこと、子どもの人間関係のこと、保育のこと、、、まだ質問できていなかった、この話を聞きたかったのに、授業で聞くことができなかった、などあるかと思えます。後期も金曜日に大学にいますのでお気軽にお声かけください。</p>
子どもと表現	越山 沙千子	<p>前期お疲れさまでした。初めて担当した授業で、担当するために授業を見学したり共同研究で数年かけて準備をしてきました。毎回の皆さんの反応や活動の様子を見て、さらに学ぶことが多く、皆さんと授業ができて良かったと思い、心から感謝しています。</p> <p>理論と実践の往還が大切だという考えから、事例を通して説明することと活動を通して実践することを100分の中で両立する難しさはありましたが、アンケートに「実際に行いながら、理解を深めることができた」「表現の仕方は色々あるということの理解が深まった」等のコメントが複数見られ、嬉しく思いました。また、回答してくださった方全員が「満足」「とても満足」と答えてくださっており、今後の授業をより良くできるよう、さらに努力していきたいと思いました。</p> <p>活動を通して、皆さんの感性や表現力の豊かさにも驚きました。全員、それぞれに良さをもっています。その良さを自分自身で受け入れ、自信にしてほしいと思っています。今後も丁寧に学び、自信の表現力や感性を磨き続けていってください。ありがとうございました。</p>
子ども家庭支援の心理学	大澤 朋子 塩川 宏郷	<p>育児の専門家としての保育士の役割を重視し、特に精神発達面での病的な状態とその対応・治療について概説いたしました。虐待と発達障害は必須の知識ですのでしっかり復習してください。</p>
子ども家庭支援論	大澤 朋子	<p>半年間の受講おつかれさまでした。教育実習もあって授業スケジュールが変則的でしたが、欠席した方も自発的に課題に取り組んでいてよかったです。最終回のグループ発表はさすが4年生と思わせるものがありました。</p>
社会	田中 正浩	<p>アンケート結果において平均を下回る数値項目もあり、今後の反省点としたい。これまで以上に双方向の授業になるようにし、授業法などで受講生の目線で工夫・改善していきたい。</p>
社会心理学2	水野 いずみ	<p>頂いた内容をふまえてよりよい授業にしていきたいと思えます。</p>
社会的養護1	大澤 朋子	<p>半年間の受講おつかれさまでした。社会的養護1は理論中心に学びました。次年度は実際の支援内容中心の社会的養護2を学びます。次年度以降の学びに活かしてください。</p>

[2022 (前期) 生活文化学科] 授業アンケート結果へのフィードバック		
コース名	教員名	教員からのコメント
初等教科教育法 (国語)	南雲 成二	<p>☆生活文化学科 幼児保育・児童 (初等) 教育コース専攻の14名の皆様へ。大学2年生前期、水曜日の5時間目 (17:00~18:40) お互い厳しい時間帯をよく努力し、忍耐し、『初等教科教育法 (国語科)』を履修してくれました。とても立派でした。来年70歳満期定年退職をする南雲先生にとって、思いで深い『初等教科教育法 (国語科)』の授業・演習となりました。1期生~10期生の先輩方とともに切り拓きつつ積み上げてきた学習内容 (教育実践内容と方法・技術) です。</p> <p>☆☆みなさんにお届けした幼小コース先輩の「卒業論文」「国語科学習指導案」「小学校教育実習ノート記録」、是非とも今後の自分自身の教育実習・教育実践の為に役立ててください。</p> <p>☆☆☆今年の4年生から『小学校教育実習 (4週間)』が4年生の6月~7月に移動しました。それに伴い、4~5月の2ヵ月間に「教育実習関係・関連」の集中講義と「公立小学校教育採用試験第一次・第二次合格突破対策」も含めた教育学演習の集中講義が、まさに怒濤の勢いで実践・実行されます。どうか、そのことも見通しつつ、国語科以外の教科教育法の学習も油断しないで進めてください。自学自習やグループ学習に直接テキストとして活用できる『文部科学省の最新資料PDF』も殆どすべてお届けしてきました。確かめたい人は、文部科学省のHPを点検してください。顔晴れ!!</p> <p>☆☆☆☆2年生後期は『特別活動の指導法』で、水曜日3校時にお会いします。初等教育実践・研究関連で分からない事やもっと知りたい事、調べたい事や追求したい事があつたら遠慮なく南雲先生に声をかけてください。残り14回しかありません。よろしく!!</p>
初等教科教育法 (算数)	渡辺 敏	皆さんの評価を活かしてより良い授業に改善していきます。学んだ算数の指導法を是非、実習で活かしてください。
心理学概論 1	作田 由衣子	毎回質問を考えることで理解が深まったなどのコメントがあり嬉しく思います。なるべく多くの質問に答えるようにしていますが、なかなか拾いきれないところもあるかもしれません。「おっ」と思うような鋭い質問・コメントを書いてもらえると、嬉しいです。
心理学研究法入門 1 (心理学研究法)	中山 友則 作田 由衣子	対面でなくオンデマンドでよいのではとのコメントがありました。講義形式の回は、確かに必ずしも対面である必要はないのかもしれませんが、2限続きの授業は、メディア授業に慣れてしまつとなおさら長く感じてしまうのかもしれませんが。内容については今後の検討課題としたいと思います。
心理検査法 1 (心理的アセスメント a)	長崎 勤	グループワークが十分に出来、良かったです。皆さん課題等よく頑張ったと思います。心理検査が何のために行われるか、検査を受け、結果を受け取る子供、保護者の気持ちを考えられる検査者になって下さい。
心理調査法 1	水野 いずみ	回答の内容をふまえて、授業をよりよくしていきます。
人体の構造と機能及び疾病	塩川 宏郷	できるだけゆっくり講義をしているつもりですが、もう少し授業のスピードダウンをはかります。板書はなるべく丁寧に書くようにしていますが、字が汚いという指摘には傷つきました。できればアンケートではなく授業中に申し出てください。
図画工作	井口 眞美	つくることを楽しめるみなさんとの授業は、こちらも大変楽しかったです。子どもとともに、活動を楽しめる教師を目指し、これからも授業に取り組んでください。
生涯発達心理学 a	塚原 拓馬	理解度78.7%、満足度4.27の評価を頂いた。理解度をさらに高めるために、できるだけ相互性を取り入れた授業になるように努めたい。
生涯発達心理学演習 a	塚原 拓馬	理解度86.4%、満足度4.55と一定以上の評価を頂いた。次回以降もこのような評価を得られるように継続していきたい。
生活	松田 純子 渡辺 敏	皆さんの評価を活かして授業の改善に努めます。
生活経済論演習	高橋 桂子	履修お疲れ様でした。企業訪問のための準備もよく出来ましたね。名刺作成、挨拶、訪問時の質問検討、そして当日の質問、御礼の挨拶、その後の礼状。この一連の作業が「企業訪問」、そして「ビジネス」です。前後にたくさんの作業があることも実感できたと思います。丁寧に仕事を進めることも大事。頑張ってください。
生活心理フィールドワーク 2	水野 いずみ 塚原 拓馬 作田 由衣子	回答の内容をふまえて、授業をよりよいものにしていきたいと思っています。
生活心理研究計画法	水野 いずみ	大変意欲的に授業および授業外学習に取り組んでいました。

[2022 (前期) 生活文化学科] 授業アンケート結果へのフィードバック		
コース名	教員名	教員からのコメント
生活文化概論	田中 正浩 高橋 桂子 水野 いずみ 松田 純子 塚原 拓馬 井口 眞美 南雲 成二 細江 容子 渡辺 敏 長崎 勤 作田 由衣子 島崎 あかね 大澤 朋子 塩川 宏郷	今後もオムニバス形式の講義の特色を生かして、両専攻どちらも関心を持ってもらえるような授業構成を考えてまいります。
生活文化史 1	細江 容子	100名近い学生への講義であるので、声や言葉等の聞き取りやすさや説明スピード等に関して、学生の講義内容の理解が深まるように改善していきたい。
体育	島崎 あかね	今年度から幼小コースのみの履修となり、人数が少ない中での授業となったため、運動あそびや体育の種目の体験的な学びが十分に実施できていないところもありますが、幼児期の運動あそびと小学校での体育がどのように連携・関連し合っているかについて、「遊びマニュアル」の作成に生かすことができたのではないかと思います。ボランティアや子どもたちとの関わりの際に活用し、後期の「初等教科教育法(体育)」にも繋げていければと思います。
知覚・認知心理学 b	作田 由衣子	なるべく多くの質問に答えるようにしていることが、モチベーションにつながっているなうれしく思います。ぜひ、引き続きいろいろなことに関心を持って学修を進めてもらえたらと思います。
保育・教育指導の基礎	松田 純子 井口 眞美 渡辺 敏 大澤 朋子	本年度は、幼稚園、小学校、児童館等の諸施設での見学観察実習を実施することができました。夏のボランティアも含め、子どもたちの実際や諸施設の役割を具体的に知ることができたことと思います。この授業で知った実際の様子を、他の授業内容と結びつけながら、理論と実践との往還的な学びを深めてください。
保育・教育指導の実際	松田 純子 井口 眞美 渡辺 敏 大澤 朋子	前期は、コース別に、保育所、小学校の学びを中心として授業を進めました。後期は、こどもまつりへの参加の他、自作したエプロンシアターを子どもたちの前で披露したり、3年次の幼稚園・保育所実習先を決定したりします。ぜひ、子どもと過ごすことの楽しさを味わいながら、実践的な専門性を高めてほしいと思います。
保育カリキュラム論	田中 正浩	アンケート結果からは、授業内容・方法について、受講生の視点で工夫・改善すべき点が多くあると受け止めている。本教科の学習内容が、受講生の今後の保育活動に直結することを意識し、わかりやすく、身に付く、授業をめざしていきたい。
保育学	井口 眞美	できるだけ具体的な場面や実践的な内容を取り入れることで、保育の実際が理解できるように心がけてきました。ここで学んだ子ども理解、子どもの文化、保育の現状等については、今後の教職での学びや、自らの生活に活かしてほしいと思います。
保育活動の実際b	井口 眞美	春日先生からの急な交替となりましたが、造形活動を楽しむみなさんの姿には感心しました。授業をしているこちらも楽しかったです。今後も、子どもの実態に即した保育の技術を身につけることに加え、保育者自身も活動を楽しめる心を大切にして学びを進めてください。
保育原理 1	松田 純子	「保育原理 1」は、保育士資格や幼稚園教諭免許取得のための必修科目です。授業の内容は、保育の制度や法令に関する事など、具体的な子どもの姿からは少し離れた、かたい話題も多かったため、強い関心を持って学ぶことは難しかったかもしれませんが、アンケートの結果からは、みなさんが「保育原理 1」の内容を保育の基本として、大切な事柄と認識して学んでくれたことが分かり、嬉しく思いました。講義科目ではありますが、もう少しグループディスカッション等の時間を増やし、みなさんの気づきや質問をすくいあげることができたら良かったと思います。
保育者論	田中 正浩	アンケート結果を真摯に受け止め、受講生にとって自身の成長が実感でき、熱心に取り組みたいと思えるような授業になるように努めていきたい。とくに、授業方法については、より双方向的にし、スライド・配付資料等をわかりやすく工夫・改善をしたい。

[2022 (前期) 生活文化学科] 授業アンケート結果へのフィードバック		
コース名	教員名	教員からのコメント
保育内容指導法 (言葉)	松田 純子	今年度は、コロナ禍の中ではありましたが、対面で演習にも取り組めて良かったと思います。仲間の発表から学ぶことも多かったのではないのでしょうか。みなさんの授業評価のコメントでも、演習を通しての学びが実感されているようでした。絵本の読み聞かせや紙芝居の実演等の技術も大切ですが、絵本や紙芝居などの児童文化財の特性や作品のメッセージにも注目し、子どもたちの発達に応じた適切で有意義な教材を選び活用する力も身につけていってほしいと思います。
保育内容総論	井口 眞美	できるだけ具体的な事例をあげたり、体験的な学習を取り入れたりして、実際の保育のイメージがつかめるようにしてきました。この授業を経て、自分のなりたい保育者像、実践したい保育観を明確化してみてください。
臨床心理学 1 (臨床心理学概論)	五味 美奈子	<p>本科目は、必修科目ということもあり、「臨床心理学」に関心がないという学生も受講していたかと思います。しかし、みなさんの毎回のリアクションペーパーから授業内容への関心の高さがうかがえました。ただ、この領域で扱うものに関して、全てを紹介することは難しいことから、みなさんの関心に十分に伝えることはできていなかったと思います。この授業を入口にして、図書館に多くのよい文献がありますのでそれぞれの関心を深めていただきたいと思います。</p> <p>後期に「臨床心理学Ⅱ」を受講予定の方は、前期の内容に触れながら授業を進めていきますので、なんとなくどのようなことをしたか思い出しておいてください。後期もなるべくみなさんの声に耳を傾けながら授業を展開していきたいと思っております。どうぞよろしくお願いたします。</p>
臨床発達心理学 1	稲森 絵美子	授業内発表など、多くの学生が、積極的に取り組んでくれました。授業課題を調べる中で、興味をもったことについて、続けて学んでいってもらえたらと願っています。